

| | | | | | |
|--|--------------------------------|--|------|--|------|
| 科目名 | | 卒業制作 | | | |
| 担当教員 | | 木戸 久美子 | | 実務授業の有無 | 有 |
| 対象学科 | | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 |
| 必修・選択 | | 選択 | 授業形式 | 実習 | 時間数 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | | 「壁面のインテリアデザイン」校内1Fエレベーターホールの壁面造作について、デザインから施工まで行う。要望、要件などヒアリングや事前調査を行い、デザインイメージをまとめる。実際に製作、取付まで行う課題となる為、デザインだけでなく、使い勝手もしっかりと考える。 ・ヒアリング→施工まで、インテリア実務フローを実施 ・課題発表（校内コンペの実施） | | | |
| 学習目標（到達目標） | | 今まで学習した知識と技術を結集し、卒業設計を完成させることを目的とする。 | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | | 超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 3DインテリアデザイナーNeo3 | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | |
| 1 | ヒアリング・事前調査 ・現場採寸、要望の確認、実態調査 | | | 方法：依頼主より要望を確認する。現場採寸、実態調査を行う。 | |
| 2 | カウンセリング ・空間、エレメント等のイメージ確認 | | | 方法：イメージボードの作成。素材、色、デザインなど、プランの概要をまとめる。 | |
| 3 | 提案・調整 ・プレゼンテーション、調整 | | | 方法：3Dパースを使い、壁面のインテリアイメージを作成する。プレゼンシートのまとめ。 | |
| 4 | 校内発表・講評 | | | 方法：各チームに分かれプレゼンテーションを行い、実施案を決定する。プランについての講評を行う。 | |
| 5 | 施工・完成 | | | 方法：製作作業（1月中旬の完成を目指す） | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | | 履修上の注意 | |
| 取組姿勢 | 課題 | | | インテリアデザイン科2年間の集大成となる卒業制作課題です。課題は実際に校内にて設置される作品となります。学生目線だけでなく、来校される方々の印象や実用性などを考慮する。素材の選定や色彩計画、寸法、デザインなど要望に沿った内容とする。 | |
| 30 % | 70 % | % | % | | |
| 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | | |
| 実務経験教員の経歴 | | インテリアコーディネーターの業務における歴20年 | | | |